平成２７年度　事業報告書

高槻市は大都市圏の中にありながら、市域北部の山間地や淀川流域には豊かな自然が残され、また、古くより東西交通の要衝地であったことから、悠久の歴史に育まれた様々な歴史遺産がある。現在、市域内では産業活動も盛んであり、人口３６万人の市民の力を結集した高槻まつりや、高槻ジャズストリートなど様々なイベント活動が行われ、広く「観光」という視点で捉えると、様々な観光資源が豊富に存在する「まち」ということができる。

この様な環境の中で、高槻市では、住みたいまち高槻に取組み、「どっちも高槻」を標榜し、高槻市の魅力づくりやＰＲに取り組んでいる。観光については、平成２３年度末に策定した「観光振興計画」に基づき、自然や歴史遺産など観光素材の広域的なＰＲ活動に取り組んでおり、交流人口の拡大を図っている。また、平成２６年度に策定された摂津峡及びその周辺地域を含む「摂津峡周辺活性化プラン」に基づき、摂津峡公園でイベントが実施されるなど、観光資源の有効利用に努力している。

こうした高槻市における観光施策と連携を図りながら、高槻市観光協会では、高槻市内の観光の振興を通して地域社会の健全な発展に貢献することを目指して、観光企画事業、広報活動事業、観光案内事業を３本柱として事業実施を行ってきた。先ず、観光企画事業についは、摂津峡さくら祭りなど観光協会が直接主催する事業の実施や、高槻まつりなど市民団体等が主催する事業にも協働事業として係わり、また、観光に係わる民間団体等が実施する事業にも協力するなど、様々な取り組みを行ってきた。また、広報活動事業については、観光マップの作成・配布や、ホームページを通して観光情報を提供し、その運営管理を行ってきた。その他、観光案内事業としては、マスメディアへの観光情報の提供や、観光案内所等での対話による情報提供などとともに、今年度においては、日本政府観光局（ＪＮＴＯ）から認定外国人観光案内所として認定を受けることになった。加えて、高槻市の魅力をより深くお伝えするため、歴史ロマンや自然と触れ合う「高槻（歴史・ハイキング）ボランティアガイド制度」を通した観光案内事業を行ってきたところである。実施事業体系については、資料１（１６ページ）のとおりであり、事業内容の詳細については、２．事業報告のとおりである。

１．事項目別状況

（１）会議

（ア）平成２７年度
通常総会　平成２７年５月２７日　於）高槻現代劇場会議室

（イ）理事会
第１回　　平成２７年　５月１２日　於）高槻市観光協会会議室
第２回　　平成２７年　５月２７日　於）高槻現代劇場会議室
第３回　　平成２７年　７月２３日　於）高槻市観光協会会議室
第４回　　平成２７年　９月２９日　於）高槻市観光協会会議室
第５回　　平成２７年１２月　７日　於）高槻現代劇場議室
第６回　　平成２８年　３月２９日　於）高槻市観光協会会議室

（ウ）役員会（代表理事・業務執行理事）
第１回　　平成２７年　５月２７日　於）高槻現代劇場議室
第２回　　平成２７年　６月１７日　於）高槻市観光協会会議室
第３回　　平成２７年　７月１５日　於）高槻市観光協会会議室
第４回　　平成２７年　８月１１日　於）高槻市観光協会会議室
第５回　　平成２７年　９月１１日　於）高槻市観光協会会議室
第６回　　平成２７年１２月　１日　於）高槻市観光協会会議室
第７回　　平成２８年　３月２２日　於）高槻市観光協会会議室

（２）監査　　平成２８年　５月　９日　於）高槻市観光協会会議室

（３）組織（平成２８年３月３１日現在）

ア．正会員　　１６３名
イ．顧問　　１名
　　参与　　１名
ウ．役員　理事１８名　監事２名

２．事　業　報　告

高槻市の豊かな自然を活かしたイベントやまちの賑わいづくりに関わるイベント、歴史や伝統文化を紹介するイベントなど、観光事業の内容によって（１）観光企画事業　（２）広報活動事業　（３）観光案内事業に大別し、さらに、（１）観光企画事業については、主催、共催などの実施形態によって、Ａ．観光協会主催事業、Ｂ．観光協働事業、Ｃ．観光協力事業に類別して、様々な観光事業を実施した。なお、詳細については、資料１に示す事業体系図のとおりである。また、それぞれの実施事業については、観光案内所でのポスター掲示や参加申込書の配布、ホームページでの紹介など情報提供に努めた。

（１）観光企画事業

Ａ．観光協会主催事業

①平成２７年度摂津峡さくら祭り

平成２７年の摂津峡さくら祭りは、３月２８日（土）～４月１２日（日）にわたり、桜広場等にボンボリや提灯を掲飾し、イベント日を２日間とし、お茶席などとともに食の文化祭出店店舗の協力を得て、賑わいのある摂津峡さくら祭りを実施した。天候不順の影響もあり、開花から満開までの期間が短く、イベント当日の１日目は満開となり出店も多数出店して賑ったが、イベント２日目は早朝から雨が降りさくら祭りは中止となった。その後の天候も冬型の天気で肌寒く花見客は予想を下回りました。期間中の土曜・日曜の来園者数は８，９５７人であった。

平成２７年摂津峡さくら祭り風景

②紅葉の神峰山寺、写経と座禅の集い（①観光協会主催事業）

紅葉の季節に神峰山寺の協力を得て、住職のお話と座禅・写経の会を行い、写経と座禅会を通して高槻の豊かな自然と歴史文化を紹介した。本年は１１月１１日（水）に開催し、座禅会には１１名、写経会には３４名の参加があった。

神峰山寺での写経と座禅風景

③第４回高槻観月会　in 伊勢寺

高槻市内古曽部地域にある伊勢寺において、寺社仏閣などの歴史文化を紹介するイベントとして、１０月２７日（火）午後６時から、十三夜の満月の下で、平安時代の歌人伊勢姫所縁の伊勢寺と、平安ロマン漂う古曽部地域を紹介した。イベントの内容は郷土歴史家宇津木秀甫氏の「高槻物語」の語りと、沖縄民謡の演奏などで観月会を催した。３９名の参加があった。

観月会のイベント風景

④普門寺と酒蔵見学会

歴史のある高槻富田の地場産業（酒造）の紹介と、歴史を有する普門寺の見学など富田寺内町の魅力を紹介するため、例年、蔵元が新酒を仕込まれるこの時期に開催している。壽酒造（株）・清鶴酒造（株）の協力により、２月１０日（水）の午前・午後の２回に分けて開催し、午前の部は３７名、午後の部は４２名の参加があった。

酒蔵の見学風景

⑤第３５回たかつき芸能フェスティバルの開催

日本の伝統文化である日本舞踊の継承と発展を目的に、３月２０日（祝日）高槻現代劇場中ホールにおいて、１５会派１１２名が参加して踊りを披露し、特別ゲストに筑前琵琶の奥村旭翠師を迎え、曲目「茨木」の演奏があった。

芸能フェスティバル金田代表理事挨拶

芸能フェスティバル舞台風景

⑥　第１２回たかつき和太鼓フェスティバルの開催

４月３日（日）午後２時００分から高槻現代劇場大ホールにおいて、学生たちが主催する「たかつき和太鼓フェスティバル実行委員会」により開催された。高槻市観光協会は、これらの活動を応援し、「太鼓のまち高槻」を押し進めるために共催参加した。市内の和太鼓グループや高校・大学の和太鼓クラブが集まり、和太鼓ファンにより盛り上がった。

和太鼓フェスティバル演奏風景

Ｂ．観光協働事業

①　第４６回高槻まつりへの参加

第４６回高槻まつりは、高槻まつり振興会の主催で８月１日（土）・２日（日）の２日間に亘り行われ、２日間で延べ１９０，０００人の来場者（主催者発表）があった。高槻市観光協会は、芸能フェスティバル出演の会主を中心に、１日目（１日）の高槻音頭おどり連に参加した。

観光協会おどり連パレード

②　天神まつりへの出店参加

今年の天神まつりは２月２５日（木）・２６日（金）の２日間、ＪＲ高槻駅北ロータリーで午前１０時～午後１０時の時間帯で行われた。この祭りは、上宮天満宮に由来する古くからある祭りであり、地元の方々によって運営され、観光協会は、賑わい創出とふる里づくりのお祭りとしてイベントに出店参加している。当日は、姉妹都市若狭町の協力を得て、恒例の「魚市」や若狭町特産品販売などを行い協力した。

天神まつりの出店風景

③第２４回こいのぼりフェスタ１０００の参加

こいのぼりフェスタ１０００推進協議会の主催で、４月２７日（月）～５月５日（火・祝）の期間で、イベント開催日を４月２９日（火・祝）として開催された。観光協会は推進協議会のメンバーとして参加し、期間中１０００匹の鯉のぼりが芥川の空に泳ぎ、子供など多くの家族ずれで賑わった。観光案内所でのポスター掲示やプログラムの配布、ホームページなどで情報提供を行った。

こいのぼり 1000 風景と出店風景

④第２４回高槻シティハーフマラソンへの参加

平成２７年１月１８日（日）、高槻市陸上競技場をスタートに高槻市南部の淀川沿を走るコースで開催された。今大会は天候に恵まれたが、強い寒気の中で６，７１０人の参加者（参加申込８，０６６人）があり、観光協会は高槻シティハーフマラソン実行委員会のメンバーとして係わり、大会当日のスタッフとして参加した。

代表理事のスタート

ハーフの部、スタートの様子

⑤第１７回高槻ジャズストリートへの参加

高槻ジャズストリート実行委員会が主催する高槻市の一大イベントで、５月３日（土･祝）４日（日）の２日間に亘り、市内５７会場、７５９バンドが出演し、穏やかな天候の下で市内外から多くの来客者で賑わった。観光協会は、ジャズストリートを後援するとともに、海外からの演奏者とのウエルカムパーティーを共催した。

高槻ジャズストリート市民グランド会場

⑥食の文化祭への参加

食の文化祭実行委員会が主催する事業で、１０月１０日（土）・１１日（日）の２日間にわたり高槻城跡公園市民グランドで、６０店舗の出店により開催され、多くの来場者で賑わった。観光協会は、高槻観光を紹介するブースに出店し、市内観光のポスター掲示やチラシ等の配布を行った。

多くの来場者風景

⑦第２３回淀川三十石船舟唄全国大会への参加

１１月２３日（日・祝）開催の「淀川三十石船舟唄全国大会」に、同実行委員会の構成員として参加した。淀川三十石船舟唄は大阪府・高槻市無形民俗文化財に登録されており、当日は近畿圏を中心に、ジュニアの部も含めて全国から２４７名の出場者があり、同舟唄の普及に努めた。

三十石船舟唄全国大会風景

⑧「まるごと高槻」への参加

高槻市と高槻商工会議所とともに、高槻市の魅力をより多くの人に知ってもらい、高槻市に来ていただこうと平成２７年１１月１日にＪＲ京都駅で、同月７日には、ＪＲ大阪駅で、高槻市観光ＰＲイベント「まるごと高槻」に今年度より参加することとなった。引き続き、高槻市と高槻商工会議所と手を携え、確りとした連携のもとに、高槻市の観光の振興と文化の創造に努力していくこととしている。

ＪＲ京都駅「まるごと高槻」

ＪＲ大阪駅「まるごと高槻」

⑨「秋の摂津峡ロハスＤＡＹ」の共催と「芥川山城活用ハイキング」の実施

「摂津峡周辺活性化プラン」の一環として、秋の摂津峡ロハスＤＡＹ実行委員会の主催により、１１月１５日（日）に摂津峡公園において、「秋の摂津峡ロハスＤＡＹ」が開催された。同実行委員会の構成メンバーは、高槻市と高槻市観光協会が参画し、清水地区実行組合長会、ＮＰＯ法人などが協力者として参加した。当日は、地元農家と地元出店も含め１９店舗等の出店があり、約１，０００名の来場者があった。

また、「芥川山城活用ハイキング」を平成２８年１月１６日（土）に、高槻市と高槻市観光協会の共催で実施した。ハイキングルートは、三好山城跡を中心に、寒天小屋跡、八坂神社などを講師の説明を受けながら巡った。参加者数は、３９名であった。

秋の摂津峡ロハスＤＡＹ風景

芥川山城活用ハイキング風景

⑩たかつき産業フェスタへの参加

「たかつき産業フェスタ」は、高槻市と高槻商工会議所が主催し、市内産業を市民に知っていただくためのイベントで、今年度より高槻市観光協会も後援団体として名を連ねることとなった。平成２８年３月１９

日（土）、２０日（日）の両日にわたり、高槻市とともにブースを設けて市内観光の紹介を行った。

産業フェスタの出店ブース風景

３．その他の観光関連事業への協力

高槻市の観光を通じたまちづくりを推進するため、「たかつき能楽に親しむ会」、「高槻緑花推進連絡会」、「高槻市菊花協会」等へ構成団体として、事業実施組織への参画や後援など観光関連事業への協力を行った。

４．広報活動・観光案内事業

①　観光誘致ポスター・散策マップ等の作成・掲出（広報活動事業）

高槻市の豊かな自然や歴史観光を推し進めるため、観光誘致ポスターの掲出や、市内観光地をコースで紹介し、宿泊施設やお店紹介など観光客の利便性に配慮した「高槻散策マップ」（市内全体１２種）を作成し無料配布した。また、高槻市全体の観光イラストマップや摂津峡公園ハイキングマップを作成して無料配布したほか、「高槻市ハイキングコースマップ」の有料販売（１部１００円）及び「高槻ええとこ Book」の委託販売などにも協力した。

②　高槻市観光協会ホームページの充実（広報活動事業）

高槻市観光協会ホームページは、高槻市内の観光情報検索サイトとして機能の充実に努め、特に新着ニュースコーナーでは季節のイベントや最新情報などを文章と写真で詳しく紹介した。また、今年度においては、ホームページのサイト内にある「食べる」ページの改善を行い、紹介店舗数も１１店舗から、約７０店舗へと増やし充実を図るとともに、これに併せて、市街地を中心に「高槻まちなか：ランチ・ディナーマップ VOL. 1」を作成し、「食楽のまち高槻」の紹介に努めた。

③　高槻市観光協会ニュースの発行（広報活動事業）

「高槻市観光協会ニュース」を２回発行し、観光協会社員（会員）を始め観光案内所を通じて配布を行い、高槻市観光協会の活動やイベント紹介及び高槻市の特産品、歴史拠点などを紹介に努めた。また、「広報たかつき」をはじめ、日刊紙、ミニコミ紙、各種情報誌、テレビ・ラジオ及び地元のケーブルテレビなどに観光情報の提供を行った。

④　高槻（観光・ハイキング）ボランティアガイド事業（観光案内事業）

観光ボランティアガイド事業については、４６件、参加者９６９名の方々に高槻市内の観光ガイドを行った。また、ハイキングボランティアガイド事業は、３件１２０人のガイド依頼を受け、健康志向の高まりの中で高槻市の豊かな自然に触れ、安全な山歩きのガイドを行った。

⑤　ＪＲ高槻駅観光案内所の運営（観光案内事業）

ＪＲ高槻駅構内観光案内所については、平成２７年１２月２５日付で日本政府観光局（ＪＮＴＯ）より認定外国人観光案内所（ｉマーク取得、認定区分：カテゴリー１、３年毎に認定更新）として認定され、今後外国人案内対応が求められることになった。また、観光案内所の運営については、観光客、市民など多くの方々に利用していただける観光情報拠点として案内業務を行い（年末年始を除く、午前 10 時から午後 6 時）、観光案内及び交通・宿泊・催し等の案内、市内観光資料の配布、イベント情報の提供など相談窓口機能の充実に努めた。その他、市営バス回数券等の委託販売、各種チケットの委託販売なども行っている。

○平成２７年度案内業務件数

・観光案内	２，１４７件	電話対応　６８件
・交通案内	８，５５０件	電話対応　１５件
・宿泊案内	３３９件	電話対応　３７件
・催し案内	１，０９５件	電話対応　４２件
・回数券販売	３５，５８７枚	
・その他	４，９９７件	電話対応　７７件

ｉマークに変更した JR 高槻駅観光案内所

５．収益事業（駐車場運営と観光案内所事業）

収益事業については、観光案内所事業と駐車場事業であり、観光案内所事業では、ＪＲ高槻駅観光案内所において案内所の運営に資するため、市営バス回数券と京阪バスカードの委託販売を行った。また、駐車場事業については、摂津峡公園等に係る駐車場（下の口駐車場・上の口駐車場）について有料駐車場として経営し、観光客等の利便性の向上と地域の交通環境対策の機能を担うとともに、観光事業全般にわたる運営経費に充当した。